

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	一般社団法人 ひかる	公表日	8年	2月	9日
チェック項目	はい	いいえ	実施している点	課題や改善すべき点	
1	利用定員が児童発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	?			
2	利用定員やこの他の設備等に対して、施設の配置数は適切であるか。	?	消毒を利用している。		
3	生活空間は、こどもがわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に配慮し、バリアフリー化や情報伝達等、視覚上の配慮が適切になされているか。	6	1		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた環境となっているか。	?			
5	必要に応じて、こどもが個別の課題や嗜好を使用することが認められる環境になっているか。	?			
6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	?	毎日ミーティングで情報共有している。		
7	保護者向け評価により、保護者等の意向等を把握する委員会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	?			
8	職員の見直し等を把握する委員会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	?			
9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	?	利用したいと考えているが、予算がない。		
10	職員の見直し等を向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を受講する機会が確保されているか。	?			
11	適切な支援プログラムを作成し、公表されているか。	?			
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を適切に対応し、よりよい児童発達支援計画を作成しているか。	?			
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援専門員だけでなく、こどもの発達に関する知識や経験のある中で、こどもの個々の発達を考慮した検討が行われているか。	?			
14	児童発達支援計画が随時見直しされ、計画に沿った支援が行われているか。	?			
15	こどもの発達行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマット(アセスメント)や、日々の行動観察なども含むソフトウェアなどを用いて把握する仕組みが構築されているか。	?			
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「施設運営・施設設備」のほか、必ず支援内容の具体的な内容が、こどもの発達に必要と認められる限り記載され、その上で、具体的な支援内容が明記されているか。	?			
17	支援プログラムの立案をチームで行っているか。	?	発達プログラムの中心に行っている。		
18	支援プログラムが年度化しないよう工夫しているか。	?			
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	?	個別支援は、行っていない。		
20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	?			
21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その行われた支援の振り返りを行い、具体的な改善を共有しているか。	?			
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の経緯・改善につなげられているか。	?			
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の発達の必要性を確認し、適切な見直しを行っているか。	?			
24	障害児相談支援事業所のサービス提供会議や連絡調整会議との連携に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	?			
25	地域の保健、福祉(生活支援や福祉情報提供)、職業福祉、教育、保育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	?			
26	移行期や移行に向けた支援を行うなど、インテグレーション推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保護者や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(特別支援部)等との間で、支援内容等の情報共有や連携を行っているか。	?	保育所などは、随時情報交換を行っている。		
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、児童発達支援の連携や関係機関と連携しているか。	?			
28	【注】は、研修のみの出席)		必要時は、センターに協力を求めている。		
29	地域の児童発達支援センターとの連携を行い、必要に応じてサービスや指導等を受け合える機会を設けているか。	?			
30	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、現場の中で他のこどもと活動する機会があるか。	?			
31	研修やこどもの状況や発達を把握と伝え、こどもの発達や状況課題について共通理解を持っているか。	?	連絡帳やタブレットで行っている。		
32	地域の成長の向上を図る観点から、実際に併せて児童発達支援プログラム(ペーパー・トレーニング)や実践等の参加できる研修の機会や関係機関を行っているか。	?	研修会を年に1回開催。		
33	業務改善、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	?			
34	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意向や嗜好を、こどもの発達を考慮した上で、こどもや保護者の意向を尊重する機会を設けているか。	?			
35	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の理解を得ているか。	?			
36	定期的に、保護者等からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、適切な必要活動と支援を行っているか。	?			
37	父母の会の活動を支えることや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける支援をしているか。また、必要のない限り交流する機会を設ける支援をしないか。	?	年に一度交流会を開催している。		
38	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備することや、こどもや保護者に相談し、相談や申し入れがあった場合に速やかに対応しているか。	?			
39	定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動報告や行事予定、連絡調整等の情報をこどもや保護者に共有しているか。	?			
40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	?			
41	関係のあるこどもや保護者の意向や情報伝達のための活動をしているか。	?			
42	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	?			
43	施設内でユニフォーム、緊急時対応ユニフォーム、防犯ユニフォーム、非常時対応マニュアル等を備え、職員や家族等に周知することや、発生を想定した訓練を実施しているか。	?			
44	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常時の発生に備え、定期的に訓練、演習その他の必要な訓練を行っているか。	?			
45	事前に、簡単な予約依頼、てんかん発作等このこどもの状況を確認しているか。	?			
46	換気システムが備わっていることについて、施設の給気室に隣り合わせに設けられているか。	?			
47	安全衛生体制、安全管理に必要な体制や訓練、その関係機関と連携する等、安全管理が十分な状態で実施されているか。	?			
48	こどもの安全確保に関して、保護者との連携が図られるよう、安全対策マニュアル(取組)について、事前確認しているか。	?			
49	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	?			
50	虐待を防止するため、職員の間接的支援等、適切な対応をしているか。	?			
51	こどもの安全確保や安心を確保するための、組織的に実施し、こどもや保護者に十分に説明し理解を得ることで、児童発達支援計画に反映しているか。	?			